【よりみちゼミ】「「知る」からはじめる地域の「お菓子」について」を開催しました！

令和８年９月 30 日（水）、「「知る」からはじめる地域の「お菓子」について」を開催し、市内高校生 18 人が参加しました。当日は、「御菓子司 美濃屋」の西尾基氏を講師に迎え、お菓子の歴史などを学んだほか、実際にお菓子の食べ比べをし、和菓子のこれからについて考えました。

初めに、西尾氏からお菓子の歴史をはじめ、地域のお菓子「栗きんとん」「からすみ」「恵那饅頭」について、さらに和菓子が直面している課題や現状について聞きました。

その後のワークショップでは、お菓子５品（和菓子「栗きんとん３種」、洋菓子「オヤツヤヌフさんのさつまいもクッキー」、スナック菓子「あじめこしょうポテトチップス」）の食べ比べを体験しました。味の違いだけでなく、高校生ならではの視点でそれぞれの魅力や特徴を味わいました。

食べ比べのあとは、参加者一人ひとりが「和菓子のこれから」について考え、グループごとに意見を共有しました。高校生からは「若い世代は自分で買わない」「和菓子屋に入りづらい」などの課題が挙げられ、それに対する解決策として「コンビニで買えるようにする」「お店のドアを開けたままにする」などの意見が発表されました。

参加した高校生からは、「普段関わらない仕事の方の話が聞けた」「知らなかった地元の特産品・お菓子に出会えた」といった声が聞かれました。







